

## 一般質問

# 市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月8日から11日の4日間にわたり21人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

## 加藤 建也

[市政刷新会議]



- ①産婦人科常勤医師確保について
- ②市の観光産業活性化推進と経済活性化推進について

### 問

- ①医師不足が原因ではなく、受け入れ体制に問題があるのではないか。
- ②商業の街、旧市内市街地活性化、シャッター街復興対策は。



市内の商店街

### 答

- ①二本松病院の医師報酬については、近隣病院と比較し低いものではない。施設設備やスタッフの面でも再開の準備体制は整備されている。
- ②二本松中心市街地活性化協議会において、関係団体と行政が連携して対策を協議している。シャッター街対策は、建物の改修費や借上料について補助金を交付することとしており、商業者、住民が一体となって取り組む市街地の活性化事業を支援する。

## 石井 馨

[あぶくま会]



- ①中山間地の交通手段確保について
- ②児童生徒の学力向上について

### 問

- ①①冬場の降雪時における交通路確保について、除雪機配備状況と運用方法及び住民による除雪作業に対する助成の考えは。  
②コミュニティバスに代わるデマンドタクシーについて申し込み状況及び実施後の効果・問題点についての確認は行うのか。
- ②①全国学力テストの公表の考え及びどのように生かしていくのか、また土曜授業の考えは。  
②教科書選定についてどのような基準で行っているか。

### 答

- ①①除雪機配備状況は新たにホイールローダー2台を追加し95台体制の予定。除雪協力への助成は燃料、融雪剤等を支給する方針。  
②デマンドタクシーの申し込み状況は安達・岩代・東和地域で合計364件、ほぼ見込み通り。半年間の実績で問題点の抽出を行う。
- ②①結果公表は考えていない。各学校において結果を分析し改善を進める。土曜授業は考えていない。  
②採択地区協議会の報告を踏まえ採択していく。

## 佐藤 運喜

[市政刷新会議]



- ① 子ども・子育て支援制度及び学校教育について
- ② 産業（農業）、観光都市について

### 問

- ① ①子ども・子育て支援制度、その現状と今後について



未来を担う子どもたち～あだち保育園運動会～

- ② 学校教育活動全体の中で、「防災」「道徳」教育の強化導入は。
- ② ①米価下落に伴う農業の方向性について
- ② ②農商工、三位一体型の観光都市復興について

### 答

- ① ①「子ども・子育て支援事業計画」最終案を意見公募と会議を重ね、来年の1月を目途に策定する予定。
- ② 命を守る避難訓練指導、市防災マップ活用で自衛実行の配慮をする。道徳は教科化の方向だが現在の授業を要として、校長会議や訪問指導を通じて充実を図っていく。
- ② ①自給飼料増産と耕種農家の所得確保を図り、集落談示により地域プランを年内目標に作成する予定。
- ② ②ふくしまDC二本松推進会議を中心に戦略的に施策を検討する。

## 高橋 正弘

[あぶくま会]



- ① 除染の実施状況と今後の実施計画について
- ② 観光振興策について

### 問

- ① ①公共施設、通学路、市道等の除染の実施状況と今後の実施計画について。

② ②農地、樹園地、水路等の除染の実施状況について。

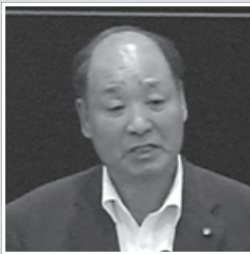
- ② ②25年度のイベント、施設別の入込観光客数について。

### 答

- ① ①小・中学校・幼稚園・保育所等子どもの利用施設は完了し、26年度は各支所・住民センターで実施。除染計画では、除染事業を平成27年度までに完了予定。
- ② ②水田2,467ha、樹園地69ha、草地665haは完了。現在は100haの草地除染を実施中。
- ② ②25年度入込観光客数は、238万人で前年度より7.95%増。道の駅安達が44万6千人、次いで霞ヶ城37万8千人、岳温泉27万6千人の順となっている。

## 深谷 勇吉

[真誠会]



- ① 空き家対策について
- ② 介護保険と高齢者福祉について

### 問

- ① 空き家を解体しても5年か10年は宅地の税率を据え置く等、市独自の方策は。逆に空き家を活用し、お年寄りの憩いの場に利用する等、福祉の推進に役立てる等は。その場合、税の軽減は考えられないか。

- ② 次年度以降、要支援者への対応は市町村費となるようであるが、本市ではどうとらえているか。また要支援者を第7次高齢者福祉計画と第6期介護保険事業計画の中ではどのように位置づけるのか。どのような介護を予定しているのか。

### 答

- ① 税制面では、国の動きを注視し対応を進める。空き家活用については福祉や市街地の活性化、定住の促進など、施策の面で市全体で総合的に検討を行い、必要な対策を判断していく。

- ② 介護予防給付費と同じ割合となっており移行によって負担が増えることは想定していない。現在のサービス水準を維持し、要支援者の身近で活動するサロンや団体等の協力も模索し、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援する。

## 本多 勝実

[市政刷新会議]



- ① 除染事業について
- ② 公共施設の環境整備について

### 問

- ① ①今年度の設計業務委託先を示してほしい。
- ②一般住宅除染の優先順位について、妊婦・子ども世帯にある除染物の敷地内保管は早急に対処すべき問題だが、どう考えているか。
- ② (平成24年9月の答弁以降の) 温水洗浄機付き便座とオストメイト対応トイレの推進の経過状況と今後の方針について。また、進捗状況が遅いのではないかと感じているが、どう考えているか。

### 答

- ① ①二本松市復興支援事業協同組合の見積書を基に検討・調整してきたが、今年度より県の指導で公的機関のふくしま市町村支援機構に委託せざるを得なくなった。
- ②住宅除染の目途がたった時点で仮置き場へ移送を実現したい。平成27年度以降になると考えている。
- ② 430施設中、68施設に温水便座275器(59器増設)、15施設に対応トイレ18器(6器増設)。新たな施設は、設計時点で配慮する。予算等もあるが、前倒しできるよう取り組む。

## 熊田 義春

[市政会]



- ① 豪雪被害によるハウスについて
- ② 豪雨災害の復旧状況について

### 問

- ① ①被害総数はどれくらいか(旧二本松、安達、東和、岩代の地域別、またパイプハウス、大型ハウス等の種類別に)。
- ②現在の進捗状況はどうか(補助事業の制度の内容)。
- ② 昨年7月27日及び8月5日の集中豪雨による道路等の被害総数はどれだけあったのか。

### 答

- ① ①地域別の内訳は、二本松403棟、安達319棟、東和162棟、岩代170棟。種類別ではパイプハウス993棟、鉄骨ハウス13棟、農業施設48棟で総数1,054棟である。
- ②補助率は国が事業費の2分の1、県は国の助成分に事業費の4分の1を上乗せし、市は10分の1.5を上乗せ助成する。自己負担は1割程度とし、早急な営農再開を促す。
- ② 市内の被災箇所は、道路が836箇所、河川19箇所、橋梁が1箇所の合計856箇所である。

## 堀 籠 新一

[真誠会]



- ① 災害復旧対策と災害の備えについて
- ② 市政運営について

### 問

- ① 大雪による除雪態勢について、除雪協力者への助成制度は。
- ② 合併後の市政運営について、合併10周年を迎える記念事業、イベント等の計画は。

### 答

- ① 個人、企業、団体等の市道除雪は「二本松市道路除雪ボランティア活動支援要領」により、燃料、融雪剤等を支給する方針とした。
- ② 来年12月で合併10周年を迎えることから、市の均衡ある発展と融和・一体感のさらなる醸成を図り、震災からの復興と本市の魅力を積極的に発信し、定住・交流の促進を図ることを目的に、合併10周年の記念事業、イベントを実施する。また、各種団体等が行う催事も、合併記念事業として支援する。